

東京湾海況情報 22-06

東京湾水質調査結果（平成22年9月分）

平成22年9月14日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料：東京湾水質調査（内湾：9/6わかふさ、内房：9/6 ふさみ丸）
東京都環境局
関東・東海海況速報

水温・塩分の状況(図1～2、表1)

表層水温は全域で平年より1～4℃高く、内湾は28～29℃、内房は26～27℃と当センターの記録上（昭和27年～）最も高い水温でした。

表層塩分は、湾奥には28以下の低塩分域が見られましたが、それ以外の内湾から内房北部は29～32、湾口部は32～33とほぼ平年並みでした。内湾の成層状態は、依然として継続していました。

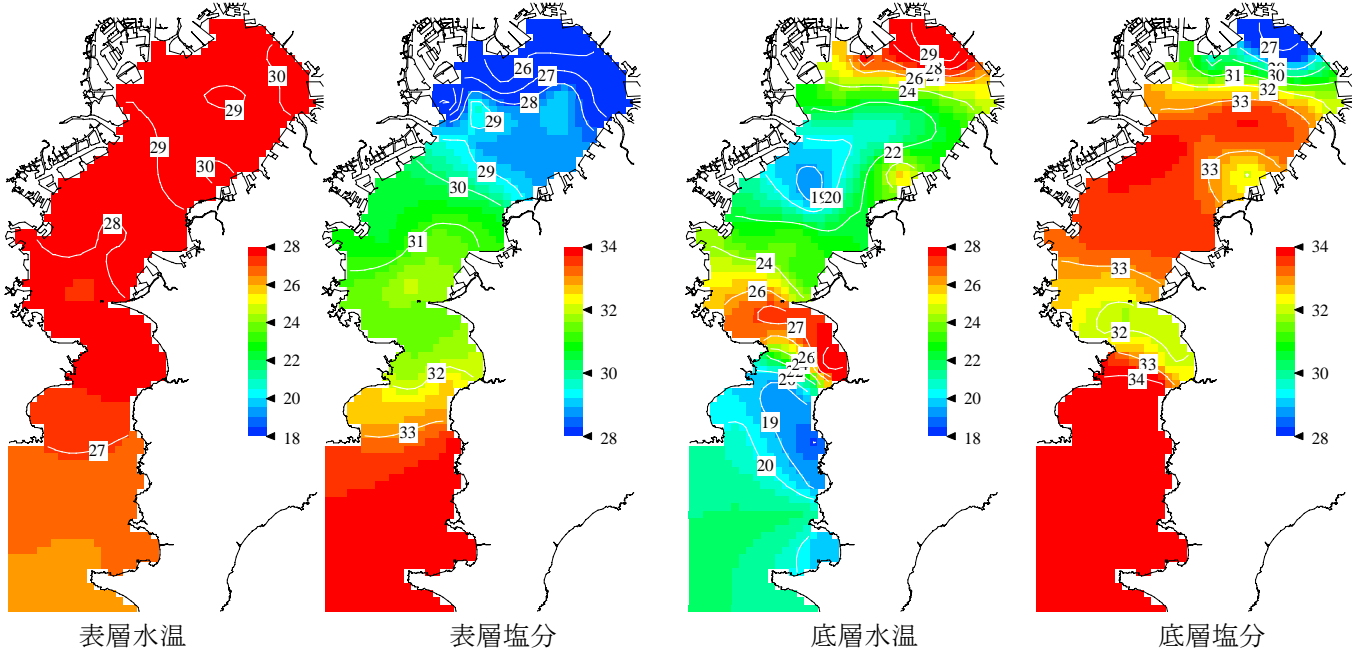


図1 水温と塩分の水平分布

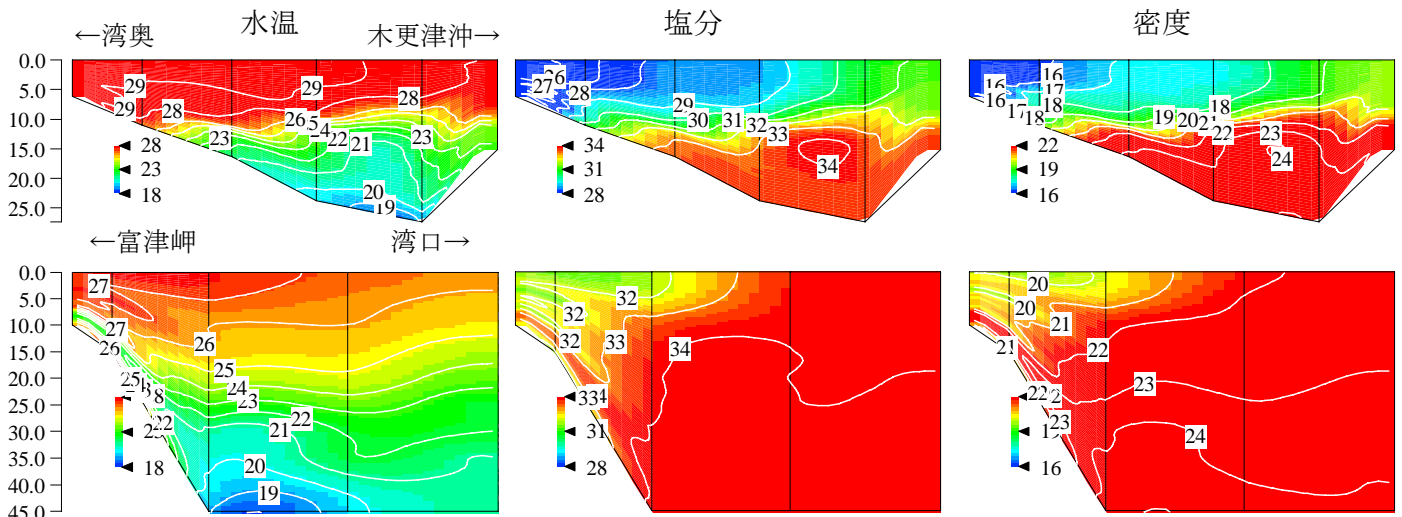


図2 鉛直分布(上:内湾, 下:内房)

赤潮の状況(図3、表1)

赤潮は、一部浦安沖で見られただけでした。プランクトンは少なく、内湾でこの時期としては、かなり少ない状況でした。優占種は海域によって異なり、内湾中央から北部は珪藻のコスキノディスクス(*Coscinodiscus sp.*)と渦鞭毛藻のケラチウム(*Ceratium fusus*)、内湾南部から内房北部海域では珪藻のシュードニッチア(*Pseudo-nitzschia sp.*)とコスキノディスクスが優占していました。保田から富浦にかけての周辺海域は、珪藻類が見られる程度でした。

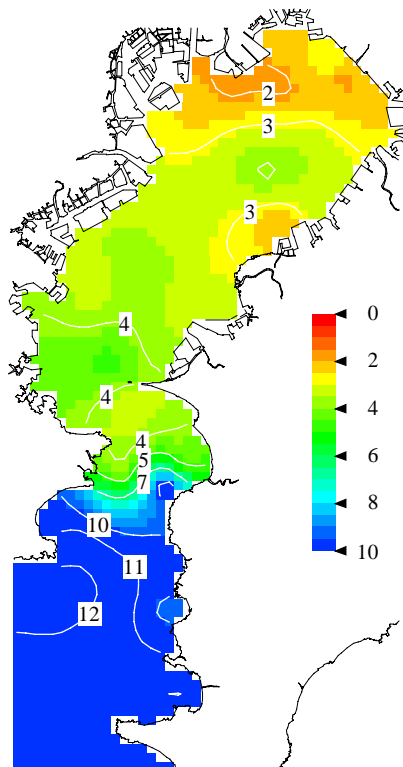


図3 透明度の分布(m)

貧酸素水塊の状況(図4、表1)

貧酸素水塊は、内湾北部沖合を中心に広範囲に分布し、鉛直的にも海底から水深10m付近まで達していました。1ml/L以下の水塊の分布が拡大しているの注意が必要です。

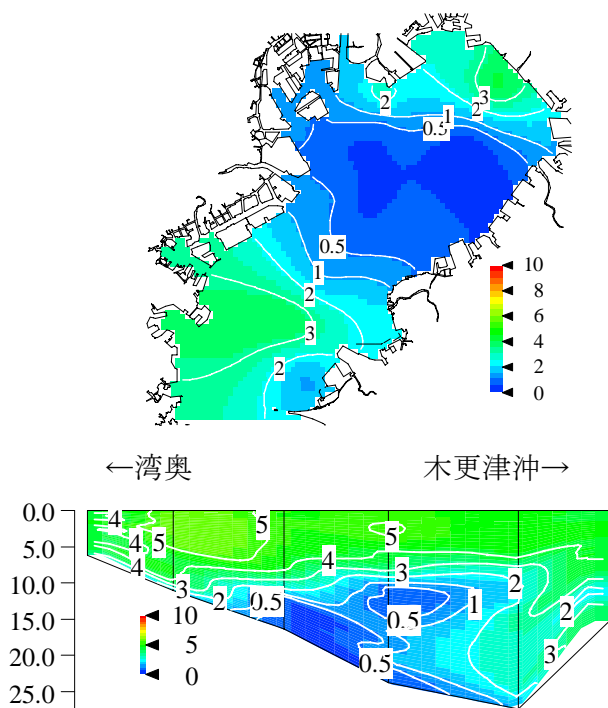


図4 内湾のDO(ml/L)

(千葉県水産総合研究センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています)

栄養塩類の状況(図5、表1)

栄養塩類は、DINでは、船橋周辺海域を除くほぼ全域で100 $\mu\text{g/L}$ 未満、PO4-Pでは全域で15 $\mu\text{g/L}$ 未満と、全般的にかなり低い状態が継続していました。

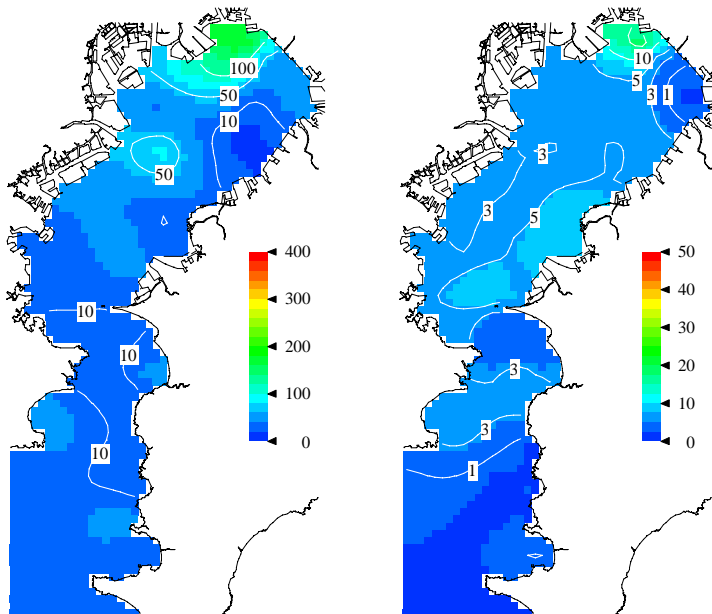


図5 表層の栄養塩類

(左:DIN, 右:PO4-P 単位はいずれも $\mu\text{g/L}$)

黒潮の状況(図6)

黒潮は御蔵島を通り北東に流れるB型流路となっています。先月より房総半島からやや離岸した模様です。

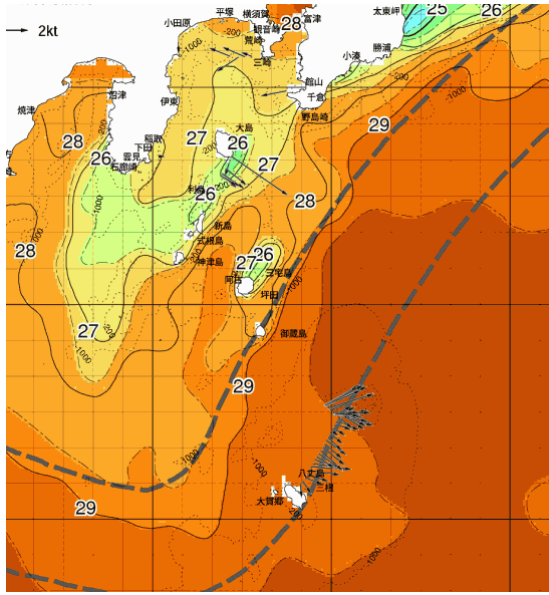
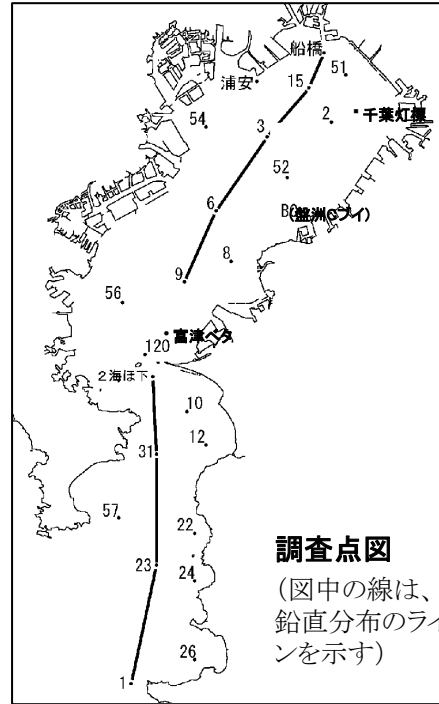


図6 黒潮の動き(9月6日)



調査点図

(図中の線は、鉛直分布のラインを示す)

表1 主な調査点の水質調査結果(調査点は、右図参照)

(調査日：平成22年9月6日)

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 ($\mu\text{g/L}$)	リン酸 態リン ($\mu\text{g/L}$)	アンモニア 態窒素 ($\mu\text{g/L}$)	クロロフィ ルa量 ($\mu\text{g/L}$)	
内湾 海域	船橋	2.7 (1.6)	29.8 (25.8)	25.48 (27.99)	8.4 (8.4)	2.6 (2.2)	154 (213)	20 (32)	100 (67)	7.7
	st.15	1.9 (1.4)	29.3 (26.1)	26.50 (27.05)	8.6 (8.5)	1.8 (0.6)	112 (232)	6 (12)	18 (29)	37.4
	st.3	3.5 (1.6)	29.1 (26.0)	28.51 (27.27)	8.5 (8.6)	0.1 (0.4)	25 (116)	3 (8)	17 (25)	8.7
	st.6	3.4 (2.0)	29.4 (25.8)	28.55 (27.16)	8.5 (8.5)	0.1 (0.8)	66 (178)	3 (19)	48 (35)	9.5
	st.9	3.8 (2.2)	27.9 (25.1)	31.16 (28.70)	8.4 (8.4)	3.5 (2.7)	30 (129)	5 (11)	15 (31)	5.5
	盤洲Cブイ	2.2 (2.0)	30.2 (26.0)	28.54 (28.86)	8.6 (8.4)	1.5 (1.9)	8 (140)	5 (16)	7 (31)	13.1
	st.8 (盤洲Aブイ)	3.2 (2.5)	28.7 (25.1)	30.64 (30.06)	8.4 (8.3)	1.3 (2.0)	10 (114)	7 (21)	8 (32)	4.5
	富津ベタ	3.8 (2.8)	28.2 (24.6)	31.63 (27.02)	8.3 (8.3)	1.5 (3.0)	20 (94)	5 (10)	15 (30)	9.8
内房 海域	第2海ほ下	3.5 (5.2)	27.8 (24.5)	31.22 (30.71)	8.5 (8.3)		6 (121)	2 (20)	5 (42)	6.3
	st.31	4.5 (7.4)	27.6 (24.5)	31.69 (31.60)	8.4 (8.3)		4 (91)	3 (14)	3 (33)	3.6
	st.23	11.5 (11.5)	26.8 (24.8)	33.74 (32.72)	8.2 (8.2)		7 (42)	0 (4)	5 (25)	0.9
	st.1	11.5 (15.6)	26.4 (25.1)	33.80 (33.72)	8.2 (8.2)		15 (37)	0 (3)	11 (25)	0.9
	st.10 (下洲沖)	4.0 (5.1)	27.7 (24.5)	31.48 (31.10)	8.4 (8.2)		8 (92)	2 (12)	6 (30)	
	st.12 (湊沖)	5.5 (5.5)	27.8 (24.7)	32.01 (31.35)	8.4 (8.3)		22 (91)	3 (11)	20 (35)	
	st.22 (保田沖)	10.5 (11.1)	26.9 (25.1)	33.7 (33.35)	8.3 (8.3)		7 (45)	0 (3)	5 (28)	
	st.24 (富山沖)	9.5 (12.5)	26.8 (25.0)	33.83 (33.49)	8.3 (8.3)		5 (37)	0 (2)	4 (29)	
	st.26 (館山湾内)	12.0 (14.5)	26.6 (25.2)	33.75 (33.56)	8.2 (8.25)		12 (33)	1 (2)	9 (27)	

(): 過去10年間の平均値

※透明度, pHとクロロフィルa量の橙色は赤潮, DOの青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。